

「未来の自分をつかめ～OB・OGの働き方をとおして考える」受講上の注意

コーディネーター 遠藤公嗣（経営学部）

- ・『学部間共通総合講座シラバス 2018 年度』を参照のこと。
- ・掲示や Oh-o! Meiji を通じて、必要事項を連絡する場合がありますので注意すること。
- ・本講座のウェブサイトに関連事項や配布資料、映像、リンクなどを掲載するので、随時閲覧すること。「明治大学労働講座」で検索してください。

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~labored/kifukoza/rodokoza2018.html>

- ・本講座の Facebook を公開しています。「明治大学労働講座」で検索してください。

1. 講義の内容について

講義の流れ（シラバス参照）

- ・OB・OG の働き方や、正規労働者と非正規労働者の働き方について知る。
- ・アルバイト経験をもとに、労働者の権利と問題解決の方法について考える。
- ・職場の問題を社会的に捉え、労働組合の役割について考える。
- ・日本の労働社会の改革の方向について考える。
- ・レポート提出

ゲスト・スピーカーについて

第2回目(4月17日)2人の社会人

第3回目(4月24日)大手企業人事部マネージャー

第14回目(7月17日)社会人

講義の寄付者について

労働講座企画委員会（労働組合や労働 NGO、大学の労働研究者で構成）

講義に関係する方々

明治大学の助手（澤木）TA（洪）

明治大学労働教育メディア研究センター客員研究員（高須、青野）

2. 講義中の注意事項

- ・講義の様子をビデオ撮影することがあるが、受講生の顔は写さない。映像記録の一部を授業のウェブサイト上で公開する。
- ・講義の最後に講師への質問時間がある。受講生は講義中に質問を準備してほしい。

3. 成績評価について

- ・毎回の授業時に、出席確認を兼ねた感想文を提出する。各 4 点×14 回で計 56 点。
- ・4 月 17 日の授業時間中に、「アルバイト実態調査アンケート」に記入し提出する（4 点）。同日は感想文とあわせて 8 点になるので必ず出席のこと。
- ・最終課題レポートは 40 点で評価する。課題と締め切りは、6 月 5 日までに発表する。なお、シラバス記載の参考書またはその他書籍を 1 冊以上読んでレポートを作成すること。

4. 就職活動を理由とする欠席について

- ・就活を行った証拠となるもの（氏名、日時、会社名の入ったメールなど）を提出した場合に限り、出席点を半分（2 点）付与する。

以 上